

情報誌「サポかな」(神奈川県産業振興センター発行)

原寸図鑑で「SCFチューブ式熱交換器」の記事が掲載されました。



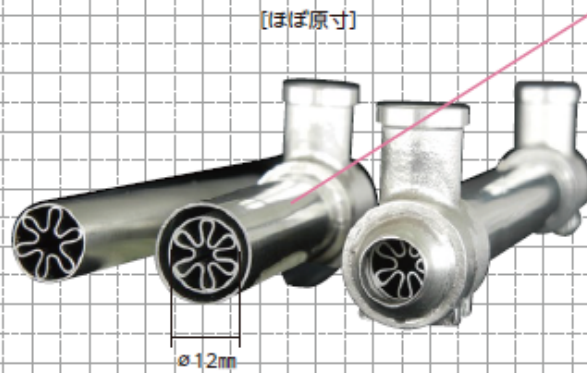
KIPからのご案内

神奈川のピカイチ!ものづくり

原寸図鑑

[Vol.10] (株)リガルジョイントの二重管式(SCFチューブ)熱交換器

大手メーカーの下で1974年から行ってきたリガルジョイント。「は夢は語れない」との思いから自主に進め、ホース用継手や流量計する商品開発に邁進してきた。はじめとする300社以上の顧客を「メーカー」である。2012年に開発率に伝達させるチューブを用いた家庭用燃料電池「エネファーム」に採用されている。



二重管式と従来式の熱交換器(長さ:約230mm)に300℃の高温ガス(20NL/min)、と15℃の水(40mL/min)を流した時の熱交換温度の比較



家庭用燃料電池システム等の省エネ、環境保全機器に搭載

二重管式(SCFチューブ)熱交換器

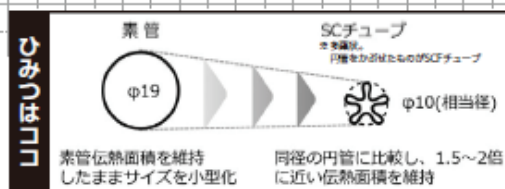
加熱や冷却の用途で使われる熱交換器。温度の高い流体から低い流体へ熱を移動させる機器で、一般にはエアコンの室外機や冷蔵庫に、産業用では各種製造ラインの冷却、加熱工程やボイラーなどで使われています。

二重管式熱交換器(SCFチューブ:シューティングローパーフィンチューブ)の採用により以下を実現

- 熱伝達率の向上
素管の伝熱面積を維持したまま流路断面積を小さくできるため、内部流体の速度が向上
- ダウンサイジング
流路断面積を小さくしたことにより機器の小型化が可能に



【企業概要】
 株式会社 リガルジョイント
 所在地: 相模原市南区大野台1-9-49
 TEL: 042(756)7567
 代表者: 代表取締役 稲場 純
 事業内容: 流体制御機器事業、環境事業、受託製造事業、熱交換器事業
<https://www.rgl.co.jp>



この熱交換器はエネファームや工場排熱の冷却排気などで採用されており、温室効果ガスの削減、カーボンニュートラルに貢献します。弊社では他にも流体制御に掛かる受託開発を承っております。ぜひご相談ください。

